

2018 (平成30)年 7月 1日 第 45号

社会福祉法人 十字の園

# ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)

発行: (福) 十字の園法人本部  
理事長 平井 章

住所: 〒431-1304  
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11  
tel 053-414-1400  
fax 053-420-2100



朝から共に笑顔でお掃除

## 「笑顔」

御殿場十字の園 施設長 宮島克利

今日はどこでお昼にしましょうか。一階厨房近くに置かれた職員用の食事をお盆に乗せ、その時に頭に浮かんだ利用者さんやユニット、事業所に向かいます。「お邪魔します」の声で席につくと、笑顔で迎えられ、一緒に食事を取ります。話が弾み楽しいです。「また来てね」と言われ嬉しい気持ちになります。その笑顔に励まされ、そしてわたしたちはその笑顔を求め日々創意工夫しながら努めているのだと思います。身障デイサービスセンターでは「一笑懸命作戦」が日々の目標です。利用者さんが少しでも笑顔になって帰っていただけるよう努めています。4年前に開設したグループホームの名前は「笑みの里」です。笑顔あふれるホームを目指しています。これからも御殿場十字の園が誰にとっても笑顔になれる、笑顔でいられるところでありたいと思います。

### 1. 一生を神の働きのために捧げる

近代看護の創始者ナイチンゲールと日本の特別養護老人ホームの創始者ハニ・ウォルフは、ディアコニッセ（奉仕女）として教育を受け、神の召命のもとに生涯を捧げた人でした。ナイチンゲール研究の先生がディアコニッセ発祥の地、カイゼルスヴェルトを訪問した時に「ディアコニッセのハニ・ウォルフという人が日本の高齢者福祉のために活躍された」との話を聞き、インターネットで検索して、十字の園に来られました。私からディアコニッセ等の資料を提供しました。8月にナイチンゲールの学術集会在広島で開催されますが、私も講演を依頼されました。

### 2. ディアコニッセとは

1836年に、フリートナーにより創始された教会的役職の一種です。牧師が伝道の業を主とするのに対して、奉仕女は救済の業に専念するために結婚を放棄して「ムッターハウス（Muttres Haus）・母の家」に入り、生涯をその一員として送ります。ドイツを中心として全世界に広まり、施設や教会区、個人の家庭において、キリストの愛を実践したクリスチャンの社会運動であり、ナイチンゲールも、後の赤十字運動もここから生まれました。ディアコニッセの訓練を受けた人は、自分に与えられた仕事は神からの命令（召命）と受け取り、どんな困難にも祈りで道を拓いて行くのです。

### 3. なぜディアコニッセが浜松に来たのか

P・G・メラー牧師が、1946年、同じ敗戦国の日本の社会状況を視察するために来日しました。戦後復興のドイツよりはるかに遅い日本の現状を見ました。「日本の教会は、どうしてこれに手を付けないのか」と疑念を表明し、「必要ならドイツのディアコニッセを派遣することができる」と提案しました。結果、長谷川保が引き受けることになりました。長



長谷川保先生とハニ姉妹は性格が似ていて、行動力がすごかったようです。一女・長谷川保」とも言われていました。

谷川保はかつて、「もの言う手」というドイツ・ディアコニッセが、盲、聾、啞の三重苦を負う児童たちに、手話を教える情景を撮ったフィルム映画を見て、心を打たれたことを覚えていたからです。5人のディアコニッセが浜松に来ました。その中の一人ハニ・ウォルフによって十字の園老人ホームができたのです。

### 4. 長谷川保の「聖隷のこころ」

1926年4月、イースターの午後に、長谷川保ら10人ほどの青年キリスト者たちが、社会福祉事業を行うことを目的として聖隷社を創立しました。彼らはイエス・キリストが奴隷のように、弟子たちの足を洗われる姿を、キリスト者の理想の生き方と考え、自分たちもキリストに倣い、聖なる神の奴隷となって神と世の人々とに仕える生き方をしようと誓い合い、それが今日の聖隷に繋がります。

### 5. ハニ・ウォルフの「創立のこころ」

「まあ、始めるなら、政府から十分のお金が来ないから大変でしょうが、勇気を出して、主イエスと一緒に一番困っている看護の必要な方々を迎えてやりましょう（ハニ）。」その時から十字の園の建設が私たちの使命になり、ハニはドイツに渡り、母の家から教会へと出かけ600万円の献金を集めてきました。

### 6. 聖書（み言葉）に聴く

長谷川保とハニ・ウォルフは、聖書を読み込んでいます。また、神様を信頼して物事の判断を聖書（み言葉）に聴き行動しています。私は、十字の園の精神は「ディアコニッセの精神」と伝え、「伝道と奉仕の団体十字の園」とも伝えます。それは「キリスト」とセットでなければ伝わりません。わかりますか。

## 「法人広報部会への期待」

法人広報部会 前担当責任者 三條洋二

ぶどうの木が創刊されて21年になります。ルーツは三代目理事長・森本節夫氏の思いを紙面に顕したことから法人機関紙はスタートしました。平井理事長からは「ぶどうの木の発行は職員向けである。それを紙面に現して欲しい。」と常々言われておりました。表紙には数年のテーマを準備し、それを通して各施設長の思いが判るように文章を書いていただきました。2ページは法人理事長の考えが伝わるようにと誌面構成を心がけてきました。誌面全体として十字の園がキリスト教福祉に取り組み、聖書から導き出された理念を大切にし、その思いから各施設の利用者への関わりが見える記事を用意して職員皆と共有出来ればと考えてきました。職員全体の拠り所としての誌面作りを各施設広報部員が本業以外の時間を割いて関わり続けて来てくれた事を、ここに感謝いたします。

今年度から広報部会の担当責任者を御殿場十字の園高木直也課長に引き継ぎ、新たな誌面作りに取り組んでいただくこととしました。

私には実現しなかった事項が一つありました。以前の聖隷福祉事業団の機関紙（裏表紙ですね。）に職員紹介のコーナーに職場職員の顔写真の他、どなたがコメントされているのか判らないのですが、職員の方を他者の視点でそれもプラスの視点で紹介されている企画がありました。コメントはその通りの人だろうなと思わされるもので聖隷福祉事業団がそのような目で職員一人ひとりを大切にしておられるのでだろうと読者は想像させられる紙面でした。

このような暖かいまなざしのある誌面作りを新しい広報委員会には期待したいと切に願う次第です。

## 「新たな誌面づくりへの取り組み」

法人広報部会 担当責任者 高木直也

『ぶどうの木』の読者の皆様、はじめまして。この度、社会福祉法人十字の園の広報部会に加わらせていただきました御殿場十字の園の高木直也です。この度前担当者より法人広報部会のバトンを受け取りました。私は14年前に資格取得の実習先であった十字の園に声をかけて頂き入社しましたが、三代目森本節夫理事長の思いから始まった法人機関誌『ぶどうの木』の発行に携わらせて頂くことは、戸惑いを感じつつも大変光栄な事と思います。十字の園に入職してから感じる事は、創立から大切にしてきた精神を継承していく事に非常に重きを置いている法人だという事です。そのためにこの『ぶどうの木』が用いられてきたことは言うまでもありません。職員や関係者の皆さんに向けての思いや考え、各施設からの心温まる記事などを伝えられるよう暖かい目線のある誌面作りを、神様の愛が感じられるような誌面作りを心がけていきたいです。



# 2017(平成29)年度 決算報告

(社会福祉法人 会計基準)

## 財産目録

(単位:円)

資産・負債の内訳	金額
<b>I. 資産の部</b>	
1. 流動資産合計	989,635,178
現金	474,984,843
預金	502,982,596
未収金	5,422,600
未収補助金	636,530
医薬品	304,110
掛材	20,835
掛材替	2,272,997
仕立前	152,800
1年以内の流動資産	1,483,277
その他の流動資産	647,410
2. 固定資産	150,000
(1) 基本財産	4,277,064,714
土地	3,450,975,965
建物	743,637,431
(2) その他の固定資産	2,707,338,534
土地建物	826,088,749
構築物	110,698,800
構築物	86,908,069
車輿	53,788,352
器具及び備品	10,596,693
器具及び備品	53,759,923
有形リース資産	46,940,000
権利	190,103,746
ソフトウェア	3,537,615
無形リース資産	4,721,638
長期貸付金	5,381,316
退職給付引当金	1,312,000
退職給付引当金	58,830,679
退職給付引当金	59,746,000
繰上り金	700,000
繰上り金	117,428,000
繰上り金	3,410,000
繰上り金	3,150,000
繰上り金	14,725,000
繰上り金	240,500
繰上り金	110,418
繰上り金	110,418
<b>資産の部合計</b>	<b>5,266,699,892</b>
<b>II. 負債の部</b>	
1. 流動負債合計	409,420,924
事業未払金	85,002,515
1年以内返済予定設備資金借入金	144,258,000
1年以内返済予定リース債務	18,317,172
預り金	16,077,522
職員預り金	6,555,715
賞与引当金	139,210,000
2. 固定負債	1,347,202,569
設備資金借入金	1,051,458,000
リース債務	177,167,890
退職給付引当金	58,830,679
長期預り金	59,746,000
負債の部合計	1,756,623,493
差引純資産	3,510,076,399

## 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>989,635,178</b>	<b>流動負債</b>	<b>409,420,924</b>
現金	474,984,843	事業未払金	85,002,515
預金	502,982,596	1年以内返済予定設備資金借入金	144,258,000
未収補助金	5,422,600	1年以内返済予定リース債務	18,317,172
医薬品	636,530	預り金	16,077,522
掛材	304,110	職員預り金	6,555,715
掛材替	20,835	賞与引当金	139,210,000
仕立前	577,180		
1年以内前払費用	2,272,997		
その他の流動資産	152,800		
	1,483,277		
	647,410		
	150,000		
<b>固定資産</b>	<b>4,277,064,714</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,347,202,569</b>
基本財産	3,450,975,965	設備資金借入金	1,051,458,000
土地	743,637,431	リース債務	177,167,890
建物	2,707,338,534	退職給付引当金	58,830,679
		長期預り金	59,746,000
<b>その他の固定資産</b>	<b>826,088,749</b>	<b>負債の部合計</b>	<b>1,756,623,493</b>
土地建物	110,698,800	<b>純資産の部</b>	
構築物	86,908,069	基本金	870,123,043
構築物	53,788,352	国庫補助金等特別積立金	1,583,757,468
車輿	10,596,693	その他の積立金	139,413,000
器具及び備品	53,759,923	施設整備等積立金	117,428,000
建設仮勘定	46,940,000	海外研修積立金	3,150,000
有形リース資産	190,103,746	修繕費積立金	14,725,000
権利	3,537,615	工賃変動積立金	700,000
ソフトウェア	4,721,638	設備等整備積立金	3,410,000
無形リース資産	5,381,316	次期繰越活動増減差額	916,782,888
長期貸付金	1,312,000	(うち当期活動増減差額)	42,670,339
退職給付引当金	58,830,679		
退職給付引当金	59,746,000		
繰上り金	700,000		
繰上り金	117,428,000		
繰上り金	3,410,000		
繰上り金	3,150,000		
繰上り金	14,725,000		
繰上り金	240,500		
繰上り金	110,418		
繰上り金	110,418		
<b>資産の部合計</b>	<b>5,266,699,892</b>	<b>純資産の部合計</b>	<b>3,510,076,399</b>
		<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,266,699,892</b>

## 資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目	決算額
<b>事業活動による収支</b>	
収入	
介護保険事業収入	2,739,592,876
老人福祉事業収入	337,913,242
就労支援事業収入	9,907,780
障害福祉サービス等事業収入	223,398,425
医療事業収入	20,493,476
借入金利息補助金収入	656,380
経常経費寄附金収入	9,392,272
受取利息配当金収入	49,447
その他の収入	30,539,553
事業活動収入計(1)	3,371,943,451
支出	
人件費支出	2,365,012,941
事業費支出	499,842,032
事務費支出	259,888,509
就労支援事業支出	10,264,928
利用者負担軽減額	4,380,809
支払利息支出	15,768,124
その他の支出	15,917,262
事業活動支出計(2)	3,171,074,605
事業活動資金収支差額(3=1-2)	200,868,846
収入	
施設整備等補助金収入	22,999,000
設備資金借入金収入	15,000,000
施設整備等収入計(4)	37,999,000
支出	
設備資金借入金元金償還支出	142,883,000
固定資産取得支出	45,420,810
固定資産売却・廃棄支出	6,224,300
ファイナンス・リース債務の返済支出	10,363,881
その他の施設整備等による支出	12,144
施設整備等支出計(5)	204,904,135
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△166,905,135
収入	
長期貸付金回収収入	999,200
積立資産取崩収入	40,876,880
その他の活動収入計(7)	41,876,080
支出	
積立資産支出	39,196,200
その他の活動支出計(8)	39,196,200
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	2,679,880
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	36,643,591
前期末支払資金残高(12)	843,169,770
当期末支払資金残高(11+12)	879,813,361

## 事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目	決算額
<b>サービス活動増減の部</b>	
収益	
介護保険事業収益	2,739,592,876
老人福祉事業収益	339,458,242
就労支援事業収益	9,907,780
障害福祉サービス等事業収益	223,398,425
医療事業収益	20,493,476
経常経費寄附金収益	9,392,272
サービス活動収益計(1)	3,342,243,071
費用	
人件費	2,387,828,261
事業費	486,139,190
事務費	261,050,589
就労支援事業費用	9,946,076
利用者負担軽減額	4,380,809
減価償却費	228,008,998
国庫補助金等特別積立金取崩額	△84,808,265
サービス活動費用計(2)	3,292,545,658
サービス活動増減差額(3=1-2)	49,697,413
収益	
借入金利息補助金収益	656,380
受取利息配当金収益	49,447
その他のサービス活動外収益	30,539,553
サービス活動外収益計(4)	31,245,380
費用	
支払利息	15,768,124
その他のサービス活動外費用	15,917,262
サービス活動外費用計(5)	31,685,386
サービス活動外増減差額(6=4-5)	△440,006
経常増減差額(7=3+6)	49,257,407
収益	
施設整備等補助金収益	22,999,000
特別収益計(8)	22,999,000
費用	
固定資産売却損・処分損	6,587,102
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△34
国庫補助金等特別積立金積立額	22,999,000
特別費用計(9)	29,586,068
特別増減差額(10=8-9)	△6,587,068
当期活動増減差額(11=7+10)	42,670,339
<b>繰越活動増減差額の部</b>	
前期繰越活動増減差額(12)	884,622,549
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	927,292,888
その他の積立金取崩額(15)	17,000,000
その他の積立金積立額(16)	27,510,000
次期繰越活動増減差額(17=13+14+15-16)	916,782,888

報告全文はホームページに掲載いたしますので、詳細はそちらをご覧ください。

# 各施設からの事業報告

## ● 法人本部事務局 本部長 鈴木 新

改正社会福祉法が施行され、評議員会は議決機関に、理事会は執行機関になりました。法令遵守と業務の適正を確保するため、内部管理体制の基本方針が理事会で決議されました。又、年間収益30億円超を対象とする特定社会福祉法人になったため、会計監査が義務付けられ、愛知県の監査法人と契約を結び監査を受審し、会計処理と決算結果は問題なしとの監査報告を受けました。社会保険は、御殿場地区を本部へ統合し健保・厚生等事務の法人統合が完了しました。

## ● 浜松十字の園 施設長 山本隆弘

2017年度も多くの方々に利用していただき感謝いたします。質の見える化を目的に第三者評価を受審し、取組内容は高評価を得ましたが、検証し改善していくプロセスの甘さを指摘されたので、その改善に努めていきます。懸案の建替計画は資金面での見通しが厳しくなり一旦保留とし、既存設備の大規模修繕を検討しました。この結果、国土交通省の省エネ化補助金事業の採択を受け、この4月より空調・照明・断熱工事が始まりました。体感的にも、財政的にも過ごしやすくなることを期待しています。

## ● アドナイ館 施設長 上野貢一

十字の園のミッションを、職員とキリスト教の理念を共有し具体的に実施していく為に、4月勉強会で理事長講話、職員全体会で礼拝を以て始めました。ケアハウス部門は、情報管理、備品整理、1階共用スペースのブラインドをカーテンに変更、居室エアコンの更新等を行いました。デイサービス部門は、記録の電子化、第6回目（年1回）の家族会を開催しました。調理部門は、献立に新メニュー毎月3～5品目追加、在庫管理徹底、洗剤や殺菌剤を見直し、7月から根洗荘へ昼食の配食を開始しました。

## ● 第2アドナイ館 施設長 鈴木淳司

第2アドナイ館グループの小規模多機能ホームあんきは、民家を改築し、利用者に自分の家の様に過して頂いています。昨年度は、補助金を活用し、スプリンクラー設置ができました。あんきは、施設らしからぬたたずまいが特徴だったのでスプリンクラー設置でどうなるかと思いましたが、あまり目立たず皆様は以前と変わらず落ち着いた雰囲気です。今後も安全・安心の取り組みを続けながら、“あんき”に過ごして頂けるよう努めます。

## ● 御殿場十字の園 施設長 宮島克利

清潔かつ安全で居心地の良い環境を目指し、職員全体で5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を推進し、業務手順書の見直し、障子や壁紙の張替え、職場環境の改善に取り組みました。また、老朽化した旧職員宿舎の解体やケアハウス居室の空調の更新工事を行いました。空調はこれで全館の更新を終えることができました。

また、地域包括支援センターについて、高齢者人口の増加等に伴い2つ目の開設を目指し、事務所予定地の土地の購入を行いました。2018年度より包括は2か所体制になります。

## ● 伊豆高原十字の園 施設長 小川秀幸

近隣諸教会の協力を得て、礼拝や勉強会を行い、法人、施設の理念を理解、継承できるよう努めました。また、サーバントリーダーシップ（リーダーたる者は相手に奉仕をし、その後、相手を導く）の考え方に共感し、職員が奉仕の精神を培えるよう、毎月第2金曜日を『奉仕の日』と定め、ボランティアの皆様と協働しております。また、2017年度は「十字の園大会」の当番地区でしたので、伊東市立養護老人ホーム平和の杜と連携をとり、「地域と地域（施設）の融合」をテーマに開催いたしました。

## ● 松崎十字の園 施設長 三條洋二

松崎十字の園の理念の実践は、職員が現場において利用者とともに生活する事で「神の働き」の場を作り出しています。知る、知らずに関係なく、利用者に関わる中で行われているのです。利用者の命の営みに関わっている職員に感謝し、共にいる神に感謝したい。施設と職員にとっては、松崎教会と下田教会の二人の牧師の働きが大きく、単に朝の礼拝で聖書の御言葉の取次ぎをするだけでなく、利用者を訪問、挨拶、会話を行って下さっています。その姿を職員たちは見ているのです。

## ● 伊東市立養護老人ホーム 平和の杜 施設長 鈴木啓之

平和の杜では、毎朝、職員が法人理念と主の祈りを唱和し、利用者に関わる際は、理念を想うよう取り組みました。施設は、老朽化が進み修繕箇所が目立ってきた一年でした。入居者の皆様に対しては、個別支援の充実化を図り、その方の充実した生活とは何かが見えてきました。お台所職員は、伊豆高原十字の園と兼務となり、少ない人数でもより良い食事を目指せるよう挑戦しました。くつろぎの家では、皆がくつろげる場を意識し、声掛けを大切にしたら結果、利用人数も増えて来ました。

## 【改修工事を行っています】

浜松十字の園 金谷一作

浜松十字の園は57年の歴史がありますが、現在使用する建物も旧館（さつき棟）44年、本館34年、新館（在宅棟）19年と経過しており、施設内にある設備も更新時期を迎えております。この為、今年度4月から国土交通省補助金を活用した省エネ改修工事として「空調設備」「LED照明」「屋上断熱材」「サッシ（ペアガラス）」の入替を実施しています。この工事では、改築工事計画が検討されている旧館を除いた、本館と新館の設備が対象となっています。

最新機器に入替えることで、節電効果はもちろん、これまで空調が行き届かなかったエリアまでカバーされ、より快適に過ごせる場所として整備されます。照明もLEDに変えることで施設内が明るくなっています。廊下にあった大型の非常灯も最近のコンパクトサイズに変更され、以前よりスッキリして、通路の見通しも改善されています。

これらの改修により、施設内の整備は進みましたが、建設より年数の経過した建物ですので、今後も定期的な改修は引き続き必要になります。これからも家庭的な雰囲気を残しながら、明るく豊かな生活環境を整えてまいります。神の祝福が皆様にもありますように。



## 【1年365日24時間営業しています】

第2アドナイ館グループ 小規模多機能ホームあんき 市川百合子



あんきは築40年以上になる民家を改修した建物で事業を行っています。前のオーナーさんの趣味の日本庭園が建物の南と東に広がり、木々が四季折々の表情を見せて楽しませてくれます。時には「草取り」という利用者様には懐かしい作業、職員には苦行が待っています。最近では木の剪定も職員が行うようになりました。

小規模多機能型居宅介護の事業は1年365日24時間営業が基本です。お泊りをされている方が朝食を召し上がる頃に、出勤途中の御家族に送られて来所される方や、日中をあんきで過ごし、夕食を召し上がってからお帰りになる方もいます。

仕事と介護の両立を実現させるのに小規模多機能型居宅介護はぴったりのサービスです。あまり知名度がないことが悩みですが、最近では口コミであんきを知った、という方のご利用が増えています。この地での事業も10年を迎え、ますます地域に根付いた事業所を目指します。



【耕運機が来た】

松崎十字の園 ワークショップマナ 渡邊治郎

ワークショップマナに耕運機が来ました。これは三島信用金庫さんが行なっている社会福祉活動助成金制度を活用したものです。申請の際には地域住民の方も口添えしていただき快く申請が通り耕運機購入の補助をしてもらうことができました。本当にありがとうございました。

耕運機が来た時はたくさんの利用者さんが集まってきて「なんだなんだ」と興味深そうに取り囲んでいました。そして、翌日さっそく畑に繰り出し耕運機を作動してみました。これは、その時の写真です。今まではスコップと鍬で一日をかけて耕していたものが1時間で終わり、利用者さんから「すごいなあ」「便利だなあ」との声が聞かれました。この後、畝を作り、ジャガイモを植えました。いまジャガイモは青々と葉が茂り花が咲いています。収穫は6月ごろです。「おいしい芋が出来たらいいなあ」とみんなで楽しみにしています。この後はサツマイモ、落花生、ほうれん草、大根と夢は広がるばかりです。



【伊豆高原十字の園 春のふれあい祭り】

伊豆高原十字の園生活支援室 館林知孝

5月27日「伊豆高原十字の園 春のふれあい祭り」を開催しました。

入居者を中心に職員や地域の方とふれあえる場にしたい、そんな想いで名付けられたお祭りです。

当日は、天気にも恵まれ晴天でお祭り日和になりました。祭りと言えば屋台などを連想される方も多いと思いますが、今回のお祭りは「ふれあいの場」ということで、昼食後におやつを食べながらアトラクションを楽しんでもらいたいと思い、エイサー、フラダンス、よさこいを地域の方に依頼し盛り上げて頂きました。

地域の方とのふれあいにはどうしたら良いのか、委員を中心に意見やアイデアを出し合い、じゃんけん大会とくじ引きを取り入れました。入居者をはじめ、子供たちや家族の方々など多くの方の参加で盛り上がりました。

「ふれあいの場にしたい、その想いのなか、入居者、御家族、職員の笑顔が多く見られたお祭りとなりました。



## 2018(平成30)年度 新規採用者

4月2日の辞令交付式で十字の園に新しい仲間が加わりました。



☆浜松十字の園：3名

(介護職員) 石田瑛貴・滝波久子・今井和幸

☆御殿場十字の園：9名

(介護職員) 湯山了太・下田光紗・長田睦来

呂洪珠・勝俣千絵・砂山房江

高橋洋乃

(主任介護支援専門員) 平田純子

(看護師) 永井裕子

☆伊豆高原十字の園：5名

(介護職員) 中村睦子・又木大輔・市村妙子

(看護師) 佐々木日砂・御手洗淳子

☆松崎十字の園：3名

(介護職員) 柴崎徹

(支援員) 長島浩二

(栄養士) 飯泉順一



☆平和の杜：2名

(支援員) 岩澤誠太郎

(介護職員) 中川和美

計22名(辞令交付式には21名が参加しました)

※職名は、所属・配属先の職制に準じます。

## 温かいご支援をありがとうございます。



2017年度も多くの皆様から心温まるご支援とご寄附を賜わり、誠にありがとうございました。皆様方から寄せられたご寄附は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入に充てさせていただきます。

今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に応える施設として活動する十字の園へのご支援をよろしくお願いします。

法人本部事務局	15件	457,000円
浜松十字の園	87件	2,058,701円
御殿場十字の園	73件	3,557,420円
伊豆高原十字の園	30件	519,147円
松崎十字の園	15件	423,860円
アドナイ館	64件	1,013,000円
御殿場アドナイ館	2件	10,507円
オリブ	1件	7,000円
伊東市立養護老人ホーム平和の杜	8件	467,637円
第2アドナイ館	11件	878,000円
合計	306件	9,392,272円

熊本地震及び東日本大震災  
復興支援募金にご協力を!

皆様の温かいご支援を  
お待ちしております!!

〒431-1304

静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平井 章

振込口座 静岡銀行細江支店 普通 0015345

あ  
と  
が  
き

ぶどうの木の発行日7月1日は『ウォークマンの日』。1979年のこの日SONYが初代ウォークマンを売り出した日です。販売当初売上が芳しくなかったものの、あの西城秀樹がウォークマンを聴きながらローラースケートをしている写真が雑誌に載ったのを契機に爆発的に売れ出したといえます。カセットテープはAppleのiPod等にとって代われ、西城秀樹と共に歴史の1ページを彩る存在となりました。施設内にも再生機器はありません。時の移ろいを感じます。

(やまもと)

(掲載されています写真については、ご本人またはご家族の承諾を頂いています。)